

鳴瀬地区小・中学校の統合再編

市教育委員会は、2012年(平成24年)2月に小・中学校の復興方針をまとめました。矢本地区は、すべての小・中学校が現地で復旧して再開していますが、被害の大きい鳴瀬地区は少子化の現状もふまえて統合再編・校舎の移転新設を進めます。

2013年(平成25年)4月には小野小学校・浜市小学校が統合して鳴瀬桜華小学校、鳴瀬第一中学校・鳴瀬第二中学校が統合して鳴瀬未来中学校が新設されました。野蒜小学校と宮戸小学校も統合が予定されており、平成29年度内の校舎新築が見込まれています。

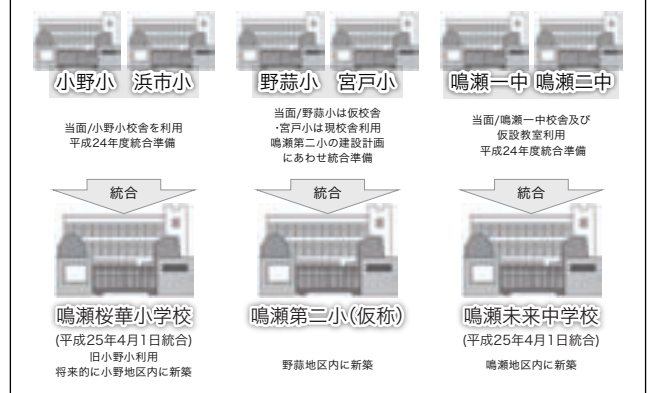
【計画期間の年次スケジュール】

	平成23年度 (検討)	平成24年度 (統合準備)	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成29年度 以降
小野小	小野小 現校舎利用	鳴瀬桜華小 旧小野小校舎利用					
浜市小	浜市小 小野小校舎利用 (平成23年12月中旬、特別教室4教室整備)						
野蒜小	野蒜小 鳴瀬総合 支所利用	野蒜小 仮設校舎利用 (平成23年12月、仮設校舎整備)					鳴瀬第二小 (仮称)新築
宮戸小	宮戸小 現校舎利用						
鳴瀬 一中	鳴瀬一中 現校舎利用	鳴瀬未来中 旧鳴瀬一中校舎利用					鳴瀬未来中 新築
鳴瀬 二中	鳴瀬二中 鳴瀬一中校舎利用 (平成23年12月、 普通教室2・校長室・職員室整備)						



統合再編へ向けた意見交換を行った鳴瀬地区教育復興懇話会の様子

【学校統合再編計画】



記録化・記憶化への取組み ～東松島市図書館「ICT地域の絆保存プロジェクト」～

市図書館では、「ICT地域の絆保存プロジェクト(東日本大震災を語り継ぐ)事業」として、地域住民の震災体験を収集し、記録、保存する活動に取り組んでいます。震災を風化させず後世に伝えていくことや、子どもたちの防災教育に活かすこと、さらに地域に根付いてきた生活の文化を再生させることが主な目的としています。集めたデータは2013年(平成25年)4月から館内で閲覧できるほか、インターネットを通じて一般公開しています。

この事業は図書館振興財団から助成を受け、2012年度(平成24年度)からスタート。仮設住宅地内で商店を復活させた方、消防団、医師など様々な立場の市民が、ビデオカメラやレコーダーを前に「あの日」の体験を語っています。関係者から直接聞き取る「オーラル・ヒストリー」により、説得力のある記録集となっています。

同館では「市民が積極的に声掛けをしてくれ、取材の輪が広がった」と協力に感謝し、2013年(平成25年)12月現在、111人の取材を終えて公開しているほか、寄稿や写真の提供者も503人になり、事業は順調に進んでいます。

震災の記録・記憶のほかにも、祭事など地元で古くから根付いてきた地域資料も寄せられるなど、本市の特色を盛り込んだ貴重な資料提供があるのも特徴です。子どもたちの郷土愛を育む教材としての活用を予定しています。

同館では、引き続き復興を後押しする貴重な収集活動を行っていきます。

■問 東松島市図書館 電話0225-82-1120

東松島市図書館ホームページ内「ICT地域の絆保存プロジェクト」

URL: <http://www.lib-city-hm.jp/lib/2012ICT/shinsai2012.html>



関係者から被災直後の様子を聞き取る市図書館職員



市民の皆さんから集まった資料を整理する市図書館職員